



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2015年2月3日

2014-2015/27

Vol.36

No. 1727

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

・北村 寛治 様 (大阪RC)

会長挨拶

先日地区の職業奉仕講演会があり、たくさんの方に行って頂きまして、本当に有難うございました。職業奉仕に関しては、私が会長エレクト研修に於きまして2630地区の服部PGにご講演頂きました。そしてこの方のお話が「ロータリーの友」の昨年の10月号にも載っております。そして今回2780地区の松宮PGに「私の考える職業奉仕」というお話を聴かせて頂きました。流石PGですので、かなりよく考えておられまして、我々が聴いておりますとどうしても哲学的に聞こえてしましまして、なかなか理解するのが本当に難しい感じが致しました。もう少し解り易くお話を聴かせて頂ければ良いなと思っている間はなかなかロータリアンにはなれないのではないかと自分では思っております。それと、残念なことです、武藤会員が腸捻転で急遽入院されました。現在ICUに入っておられまして、当分面会が出来ない状況でございます。お見舞等行かれるのに際しましては、我々会長幹事でその辺の状況を把握した中で、皆さんにまたお伝えしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会：多田実委員長

出席率100%をまた切ってしまいましたが、日曜日の講演会で「100%を義務化するな」という先生のお話がありましたので、あまりこれを強要するのもどうかと思いつつも、やはり100%はきりの良い数字ですので、Make Upを宜しくお願い致します。

例会プログラム

第28回2月3日

通算1727回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」「我らの生業」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. クラブ討論会
(国際奉仕委員会担当)
RI第2650地区
国際奉仕委員会 委員長
岩本金悟様 (奈良東RC)
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第27回 1月27日

通算1726回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 1+25名
 ◎出席義務者数 52名
 ◎欠席者 14名
 ◎出席者 56名
 ◎出席率 80.00%

第25回 1月13日

通算1724回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 1+25名
 ◎出席義務者数 52名
 ◎欠席者 9名
 ◎補填者 7名
 ◎出席者 69名
 ◎出席率 97.18%

職業奉仕委員会：石野委員長

今会長から職業奉仕講演会について、ご報告頂きましたが、改めまして参加頂きました皆様方にお礼を申し上げます。それと当クラブには、地区内で一番の出席を頂きました。登録は27名で殆どの方に出席を頂きまして、ガバナークラブとして大変名誉なことだったと思っております。

RID2650総務担当：谷川幹事

本日例会終了後、地区大会の打合せを致します。該当者の方には既にご連絡をしておりますが、会場が「桐の間」になっておりますので、各セクションの代表の方、よろしくお願い致します。

幹事報告

後期の会費納入、今月でお願いしております。お忘れなき様納入頂きますようお願い致します。

ロータリー語録

友愛と世界理解

ロータリーは単にあるがままを受け入れるのではなく、作りださなければなりません。

「人類の友愛」という言葉を実際的なものにする新しい方法と手段を見つけるという任務に大企業家の才能をむけなければなりません。

(My Road to Rotary ポール・ハリス)

会員卓話

松岡嘉平治会員（奈良豆比古神社 宝賛会 会長）

「能楽の源流を語る」

皆さん、こんばんわ。この度、楠木委員長の方からお話がございます。今日卓話をさせて頂くことになりました。この卓話は、奈良ロータリークラブの会員の方から、是非、奈良阪の翁舞の卓話をしたいというご依頼がございまして、昨年の10月25日ですか、奈良ロータリークラブでさせて頂きました。私は是非とも私たちの大宮ロータリークラブの皆さんにも聞いていただきたいと思ひまして、今日、卓話をさせて頂くことになりました。また、この題名ですが、「能楽の源流を語る」と、非常に難しいようなことが書いてありますが、私は、決して、能学者でも考古学者でもありません。ただ、この能楽に子供の時分から取り組んで参りまして、今日まで色々な面でやらしておるということですので、この点だけを是非ご理解をお願いしたいと感じる次第です。なお、昨年の9月15日には、奈良県の大芸術祭のオープニング・セレモニーとして、私たちがやっておりますこの奈良豆比古神社の翁舞を奈良県新公会堂で上演させて頂きました。その時に、映画監督の篠田正浩先生が、これは非常に能楽の原点であるというような言葉を使われまして、色々解説をさせて頂いた経緯がございます。また、平成20年に、NHKの大ホールで是非とも上演してほしいと、一座を引き連れて上演をさせて頂きました。その時に、考古学者であり大学者でいらっしゃる梅原猛先生に、私どものこの翁舞を観賞して頂きまして、また、講評を頂いたのですが、その時に、「これは大したものだ」と、「これは能楽の源流だ」と言われました。その時にこの「源流」という言葉を聞かせて頂き、それからこの「能楽の源流」というふうにも言うようになりました。能楽には、猿楽の金春流、また観世流とか、いろいろな流派がたくさんあるわけですが、その流派は全部私どもの翁舞から発した、色々変わっていったものであると、こういうふうにも梅原先生は申されておりました。そういうことで、これは是非とも皆さん方に知ってほしいなあ、見て欲しいなあ、という気持ちがございまして、今日お話しをさせて頂きたくと、こういうことと、こういうことと、それから、この翁舞ですが、昭和29年に、文化庁の方から、これは非常に重要な文化財であるというお墨付きを頂きまして、平成12年には、保存すべき国の無形文化財であるという選定を受けまして、現在に至っております。



方々から喧しく言われまして、色々やっておるといのが現状でございます。これは、お話しすると非常に時間が長くなりますので、今日は、幻灯をもってやらさせていただきますので、よろしく願い致します。

これが私どもの奈良豆比古神社の写真です。こういう神社でして、非常に奥ゆかしく、この境内には樹齢1300年という樟の樹、これは奈良県の天然記念物の第一号ですが、その記念物がございまして。昔は1000年以上の樹がたくさん茂っておったのですが、伊勢湾台風でほとんどやられまして、現在では、その樟の樹だけが、まだ天然記念物として残っております。見においでになる方が非常にたくさんいらっしゃいます。これが拝殿の写真です。後ろの方に三社が祀っておりますが、20年に一回の御造替をさせて頂くということで、平成4年にやらせて頂いて、この平成20年にも御造替をさせて頂きました。この写真のように三社を祀っております。非常にきれいな色をしておりますけども、この後ろの絵の方も、こういう絵を描いた塀がありまして、何か奥ゆかしく感ずる神社です。この写真にあるとおり、式内社奈良豆比古神社、祭神に志貴皇子、これは田原天皇と呼ぶのですが、この田原天皇の御陵というのは山地の方の矢田原にあります。それから、平城津彦神、春日王と。この三社がお祀りしてあります。これが、先程申し上げました樹齢1300年以上の樟の樹の写真でございまして、この回りが大体18メートルでございますか、そして高さが37メートルほどあるようでございます。これが奈良県の天然記念物第一号です。これは翁舞に使う面の写真です。後ろが鼓になっておりますが、この面はいずれも非常に古い面です。現在も、国立博物館に収納させて頂いております。博物館の管理下でございます。後ろの鼓の方もそうです。これも非常に重要なものであるということで、博物館に保存させて頂いております。これは笛の写真ですが、非常に音色のいい笛です。この笛も重要美術品になっておりまして、博物館で収納されておりまして、我々では持たせて頂くことはできません。ところが、祭りにはこれを吹かせていただけます。私は赤い方で、長いこと吹いておったのですが、非常に立派な音色が出ます。かなり古い時代からの笛ではないかなあ、と思っております。これは「ベシ見」の面の写真で、この面の裏に銘が入っております。このベシ見の面は、この間、アメリカの能面博に、文化庁の方から、是非出品してほしいということで出品しました。次に出てきます狐の面もあるのでございますけど。ベシ見の面には「千草左衛門太夫作、応永廿季二月二十一日」という銘が入っております。これも非常に国宝的な存在になる面です。博物館に収納されております。これが今申し上げました狐の面の写真でございまして。この狐の面には色んな事がありまして、あの有名な人間国宝であった野村万之丞さんが、是非ともこの面を見たいということで、何回もお出でを頂いたのですが、私が不在であったために、博物館は、「お見せできない」と、「所有者である松岡さんから、是非、許可を貰ってきてくれ」ということで、県の観光課長と一緒に行かれたのですが、とうとう見ずに亡くなられてしまいました。息子さんがお出でになって、おやじが非常に悔やんでおったんだというお話も聞かせて頂いております。この狂言面、こういうふうに見えていますけれども、夜、あの目玉がキーと光って、ものすごく恐ろしいような面でございます。これも博物館に収納されております。これは太夫と千歳の一座の舞の写真でございまして。この前のところにいる千歳さんが面箱というのを持っております。この面箱の中に、先程ありました面が収まっております。始めに出番がございまして、こういうふうにして、先に千歳が舞がございまして。これは、小学校5年生ぐらいの子供が舞うわけでございます。これは千歳が舞う写真です。篝火のもとに千歳が舞われます。この写真で、大鼓の役に入って、一番端の方に座っておるのが、うちの会員の鈴木君でございます。これは千歳が舞う写真で、それから太夫の舞になるわけですが、太夫が謡とともに、こうしてどんどん舞っていくということになるわけでございます。これが、この前の平成4年の時に、御造替をしたときに奉納した時に私が太夫を舞いました、その時の古い写真です。この写真で持っている扇子も、非常に古い扇子ということで、博物館に収納されております。現在使っている扇子は新しく作った扇子です。衣装も、これも新しい衣装です。これは三人舞の写真です。ここら、普通の一般の、金春、観世等にはない舞です。三人舞と申しまして、真ん中に赤い緋の衣を着ているのが恐らく当時の天皇をかたどったのではないかと、そして右大臣、左大臣を従えながら舞を舞ったと、こういうふうには聞いております。この謡の中には五穀豊穡・国土安全ということがあります。とにかく日本の国が、五穀豊穡し、また国土安全であるようにという祈りを捧げられたのではないかと聞いております。これは三番叟の写真です。三番叟と一番先に舞った千歳さんとの問答があります。これが千歳と三番叟の問答の写真です。これは三番叟の舞の写真です。最後に三番叟の舞があるというのは少し変わっておりまして、普通は、この三番叟というのは、太夫なんかの舞う前に舞うのが普通でございます。私どもの方では最後にこの三番叟の舞があるというのも、これも普通の能楽ではない舞い方であるというふうには言われております。これが奈良県の大芸術祭の時の写真ですが、私が先程申し上げました、オープニング・セレモニーのときに、ここで舞わして頂きました。新公会堂の能楽ホールです。これは、私がこの能楽の説明をさせて頂いている写真です。これは太夫の舞の写真です。これは三人舞の写真です。これは三番叟の舞の写真です。

これは三番叟と千歳の写真で、三番叟と一番先に舞った子供さんとの問答がここであるのです。黒い面を付けた三番叟が、色々と千歳と問答をします。これがNHKホールで私どもの翁舞をやりました時の写真で、梅原先生と竹下恵子さんです。このとき、梅原先生に私どもの翁舞を解説して頂きまして、非常に珍しい舞であるというのが、要するに、能楽の源流、猿楽の開祖であるとか何とか色々なことを申されたので、私もそれにあやかりまして「能楽の源流を語る」というような、えらい厳めしい名前を付けさせて頂いて、今日、こうして皆さんにご報告をさせて頂いております。これがNHKで舞わせて頂いた時の現場の写真です。千歳の舞の写真です。太夫の舞の写真です。三人舞の写真です。これが最終の時の全員の写真です。真ん中に竹下恵子さんが出て参りまして、こうして色々と問答をやらせて頂いた、こういうことでございます。この時に、私も色々と説明をさせて頂きまして、これは非常に立派なものだなあとということで、えらいお褒めにあずかりました。大体、観世とか金春さんなんかの舞の中では、三番叟というのは先に舞うのでございますね。ところが、私どもの方は、三番叟が一番後で舞うというふうになっておると。ここなんかはちょっと変わっておるのでございまして。まあ、どういうことか分かりませんが、何か、そういう所が非常に変わっておると。昔の話になりますけども、私どもの言い伝えと致しましては、私どものこのお宮さんに、能楽の皆さんが習いに来ておったのだと、その時には金春の先祖とか、観世の先祖とかという方々が皆ここに習いに来ておったという話は、伝説的に聞かせて頂いておりますのでございまして。これで説明をさせて頂いたということで、終わらせて頂きたいと思っております。



📦 箱

本日計 27,000円 累計 1,800,000円

- | | |
|--------|---|
| 高辻良成 君 | 松岡嘉平治さん、本日の卓話、よろしく願いいたします。 |
| 高木伸夫 君 | 松岡様、本日はご苦労様です。楽しみにいたしております。 |
| 石野捨雄 君 | 先日の地区、職業奉仕講演会に、御参加頂きました皆様、御苦労様でした。ありがとうございます。 |
| 辻本和弘 君 | 昨日、奈良新聞に設立30周年の特集記事を掲載していただきました。 |
| 有井邦夫 君 | ニコニコ協力 |
| 松岡弘樹 君 | ニコニコ協力 |
| 谷川千代則君 | ニコニコ協力 |
| 野崎隆男 君 | ニコニコ協力 |
| 弓場裕史 君 | ニコニコ協力 |

例会変更のお知らせ

2 月

- 五條ロータリークラブ■
- ・2月11日(水)・・・休会(祝日)
 - ・2月25日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※申し訳ございませんがビジター受付は致しません。

次週の例会

平成27年2月10日(火)

卓話 奈良県観光局 局長 福井 義尚 様

演題 「多くの観光客で賑う2020年の奈良を目指して」